

オランダ島 土砂崩れへの対策は

問

答

定期的な観察や県の事業で対策



あべよしえ 議員
阿部吉衛
(新 生 会)

2年12月に東側、南側



観光シーズン中は特に安全面に配慮が必要

それぞれ1箇所土砂崩れが発生し、3年3月に崩れた土砂等の撤去を行ったがその後何度も土砂崩れが続いている。どう認識しているか。今後の整備や対策は。

生していることは確認している。南側で発生した土砂崩れ箇所は県の治山事業により崩落防止対策を講じる。また、島の南東部も、定期的な観察を続け状況の把握に努め、対策等を検討していく。

善に向けた取り組みは。

路の草刈りは海水浴シーズン前に実施する計画。倒木処理はシーズン前に終了するよう専門の業者に依頼し対応する予定としている。

島の倒木処理対策、避難路の清掃や草刈りは実施するのか。

町長 海浜清掃や避難

問

自治会組織づくりの進め方は

答

住民主導の考え方を基本に支援

東日本大震災により自治会が解散し、地域組織のない地区があると聞く。今後、町では自治会組織づくりをどのように進めていくのか。

め、お互いが支え合うという意識の下に結成されることが重要であると考えている。地域コミュニティ組織結成の進め方については、住民主導という考えを基本とし、地域の方々による意見交換会の開催、発起人会の設立、住民集会の開催による地域の意見集約などの

ら、設立に向けた支援を行っていく。また、「コミュニティ形成支援員」による組織の育成・活動支援も行う。現在、柳沢・北浜地区の地域コミュニティ組織の結成に向け、行政区长や住民有志との意見交換会を開催するなど取り組みを進めている。

町長 新たな地域コミュニティ組織の構築については、行政からの押し付けではなく、住民が自ら安心して暮らせる地域とするた

ステップを踏みなが

る。